

会 議 録

作成日 令和6年5月15日

日 時	令和6年5月15日(水) 10:30 ~ 11:30	場 所	特別養護老人ホームすこやか苑 2F 多目的ホール
会議名	令和6年度 第1回 運営推進会議		
出席者	入居者代表・家族代表・地域住民の代表(地区社協会長)・地域包括支援センター職員 施設長・生活支援課長(生活相談員)・副主任支援員(介護支援専門員)		
<p>1 開 会</p> <p>2 挨拶</p> <p>※ 以下のとおり、施設長から挨拶あり</p> <p>本日は、令和6年度第1回の運営推進会議にお集まりいただきましてありがとうございます。日頃から当苑の施設運営につきまして、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。今年度より新たに家族代表としてY様、入居者代表としてM様にメンバーに加わっていただき、開催することとなりましたので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>まず、この運営推進会議を行う目的・趣旨でございますが、のちほど詳しく説明いたしますが、介護保険法の規程で、地域密着型サービス事業所は、その地域にあったサービスを提供するため、2ヶ月に1回運営推進会議を開くこと、とされております。当苑も青森市から認可された地域密着型の特別養護老人ホームとなりますので、2ヶ月に1回、開催しております。</p> <p>この運営推進会議は、入居者様、ご家族様はじめ、地域住民の代表となる方に集まっていただき、事業所の状況についてお話をさせていただく機会となっております。また、お話しした内容やその他地域での情報につきまして、参加者の皆様からご意見などを頂戴しながらすすめていくこととしています。</p> <p>今年度も早いもので1ヶ月が過ぎました。職員配置も欠員なくスタートでき、新採用者2名も業務にも慣れてきたところであります。今年度は昨年度の家族連絡会の中で、ご家族様から施設のイベントと一緒に参加して様子を知りたいというご意見がありましたので、一緒に参加して様子を見てもらう他、イベント等のお手伝いもしていただければと考えております。この運営推進会議を通して、地域に開かれた施設づくりを目指していきたいと考えておりますので、本日は忌憚のないご意見を頂戴したいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>3 議 事</p> <p>※ 議事に入る前に各委員短く自己紹介を実施</p> <p>(1) 運営推進委員委嘱について</p> <p>※ 別添「令和6年度 特別養護老人ホームすこやか苑 運営推進会議について」参照運営推進会議の位置づけの確認、委員会の構成メンバー、会議日程を確認</p> <p>(2) すこやか苑の運営状況について</p> <p>※ 別添「令和6年度 第1回 特別養護老人ホームすこやか苑 運営推進会議資料」参照。副主任支援員(介護支援専門員)から報告</p>			

(3) 令和5年度特別養護老人ホームすこやか苑事業報告について

※ 別添「令和5年度特別養護老人ホームすこやか苑事業報告」参照。生活支援課長（生活相談員）より報告

- ・ 地域包括支援センター職員から、今年度新たに職員2名が採用され、充足したと聞いて良かったと感じている。また、身体拘束廃止委員会を通して、ミトンを外せた事例を聴き、職員の努力が伺われ感心した。短期入所の空きについては、他事業所では空きを定期的に報告してくれるため、そのようにすれば良いPRになるのではないかと助言あり。
- ・ 地区社協会長から、限られた人員で様々な事業をこなし、良くやっていると感じている（地域貢献として職員の派遣なども含め）。ベッドからの「転落」が、建築業界でイメージする「転落」（落差2メートル以上）を想像してしまうため、ほかに別の言葉が適切ではないかと感じているとあり。
- ・ 家族代表から、短期入所の対象者と傾向について確認あり。生活相談員から、短期入所の現状として、要支援～要介護までの方が利用できること、現在入居している方のほとんどは、様々な都合で自宅での生活が難しく実際は長期利用していること、長期利用の場合はその方の介護度（区分限度支給額）にもよるが、自己負担が発生していることを説明した。また、短期入所は、介護者のレスパイトケアの目的もあることを伝えた。
- ・ 家族代表から、自身の家族（母）を入居させるまで葛藤があったが、今は入居し本人が明るく暮らしているため安心してしているとコメントあり。
- ・ 入居者代表は、この会議に参加するのが初めてで緊張しているとあり。何か要望がある時は、普段から職員に話していると、笑顔で話していた。

4 その他

- ・ 次回委員会について、7月10日（水）を17日（水）へ変更希望あり、変更することとした。開催予定日の1ヶ月ほど前に再度周知する旨伝えた。

5 閉 会

令和6年度 特別養護老人ホームすこやか苑 運営推進会議について

運営推進会議とは…

青森市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例、準用第六十一条の十七（地域との連携等）により「利用者、利用者の家族、地域住民の代表者、指定地域密着型介護老人福祉施設が所在する市の職員又は当該指定地域密着型介護老人福祉施設が所在する区域を管轄する～省略～地域包括支援センターの職員、地域密着型介護老人福祉施設について知見を有する者等により構成される協議会（テレビ電話装置等を活用して行うことができるものとする。ただし、利用者等が参加する場合にあっては、テレビ電話装置等の活用について当該利用者等の同意を得なければならない。）（以下この項において「運営推進会議」という。）を設置し、おおむね二月に一回以上、運営推進会議に対し活動状況を報告し、運営推進会議による評価を受けるとともに、運営推進会議から必要な要望、助言等を聴く機会を設けなければならない。

1 実施体制

区 分	役職名
入所者代表	入居者代表
家族代表	家族代表
地域住民の代表者	コスモス町会町会長 浜館地区社会福祉協議会会長
地域包括支援センターの職員	青森市東部地域包括支援センター 管理者
施設職員	特別養護老人ホームすこやか苑 施設長
施設職員	特別養護老人ホームすこやか苑 生活支援課長（生活相談員）
施設職員	特別養護老人ホームすこやか苑 副主任支援員（介護支援専門員）

2 会議日程

回 数	開催日
第1回	令和6年 5月15日（水） 10：30～
第2回	令和6年 7月10日（水） 10：30～
第3回	令和6年 9月11日（水） 10：30～
第4回	令和6年11月13日（水） 10：30～
第5回	令和7年 1月15日（水） 10：30～
第6回	令和7年 3月15日（土） 10：30～

※ 第6回は、家族連絡会と合同開催

○入所状況

■入 所	定員29人	
■稼働率	3月(100%) ※入院2名	4月(95.1%) ※入所1名 入院退所1名 入院死亡1名 看取り1名
■平均介護度	3月(4.2)	4月(4.2)
■平均年齢	3月(90.1歳)	4月(90.2歳)
■入所申込状況	3月(0件)	4月(2件)
	※総待機者数 49名(4月末)	
■短期入所	定員10人	
■稼働率	3月(86.1%)	4月(91.0%)
■平均介護度	3月(3.4)	4月(3.3)
■平均年齢	3月(84.9歳)	4月(86.9歳)

○事故報告について

※ 毎月安全委員会にて対策検討

■令和6年

区 分/月	3月	4月
ヒヤリハット	2	2
アクシデント	7	7
事故(Lv3以上)	0	0

※ 事故 Lv3 以上：通院を伴った事故ほか市役所へ事故報告したもの

ヒヤリハット・アクシデント内容

区 分/月	3月	4月
転倒・転落	8 (1)	6 (1)
裂傷	0	2
服薬(落薬)	0	1
その他	1	0

※ 転倒・転落()は移乗介助中のミスによる。転倒・転落で同一入居者が繰り返す例あり。対策の困難さあり。裂傷は本人の不随意運動による。その他は、面会時の食べ物の持込(賞味期限切れや喉つまりリスクなど)。

○身体拘束廃止への取り組みについて

- ※ 身体拘束例がある場合は、毎月、虐待防止・身体拘束廃止委員会を開催し、身体拘束解除に向けた検討を実施。

解除できた事例

- ① ペースメーカー設置後、左腕を挙げるなど激しく体動することで、ペースメーカーからの線がずれないように半年間（ペースメーカーチェックまで）、左腕の動きをクッションをはさんで抑制した（オムツ交換や入浴時は外した）。
→3月下旬にペースメーカーチェックを行い、その後解除。
- ② 胃瘻造設した後、入院先で胃瘻の管を引っ張る行為があり、両手にミトン等を装着して退院。徐々にミトン装着時間を減らし、装着せずに過ごせないか検討をした。
→3月をもって、家族の了承も得て、ミトン装着を中止した。現在はフリー。時々挿入部に触れることがあるが、抜去につながる事故なし。

継続している事例

- ① 不随意運動から健側（右手）の手の爪で身体に触れる部分に裂傷を作ってしまうため、右腕をクッションで抑制している（オムツ交換時や離床で見守りができる時、入浴時は外して対応）。
→厚手のクッションを購入予定で、クッションを身体と腕の間に挟むことで、動きは抑制せず、手の爪が皮膚に触れないようにし、現在の抑制を解除できないか検討中。
- ② 短期入所を不定期で利用している方が急に立ち上がり動き出す恐れがあるため、職員が見守り困難時（他者介助など）に一時的に車椅子用ベルトを装着する。
→実際に装着したことはないが、急に立ち上がる様子あり。自宅では車椅子とテーブルをひもでくくっているとのこと。不定期利用であるため、もう少し様子を見て、本人も職員もお互いに慣れた環境をつくるまでは装着できるようにする。将来的には装着なしを目指す。

○職員研修等

- ・3/6（水）～3/18（月） 口腔ケア研修（動画視聴） 15名参加
 - ・4/3（水）ほか 新任（異動）職員研修 5名参加
 - ・4/24（水）～5/8（水）救命救急研修①（動画視聴+実技） 21名参加
- ※ 上記ほか、法人・外部研修へ数名参加

○ボランティア受入

- ・4/19（金）、22（月） お花見ドライブ 計3名
- ※ 上記ほか、自宅に古布を持ち帰り、ウエス作りの協力あり。

○全体行事やユニット行事等実施状況（3月・4月）

- 3/27・4/10（水）書道クラブ 4/17（水）音楽体操クラブ 4/19（金）・22（月）お花見ドライブ
- ※ 上記ほか、各ユニットでのひな祭り、お誕生日会、健康診断（採血・胸部レントゲン）など実施。

令和5年度

特別養護老人ホームすこやか苑事業報告書

第9 特別養護老人ホームすこやか苑

1 概況

すこやか苑の運営にあたっては、「基本理念」と「基本方針」の実現に向けて、入居者の意思及び人格を尊重し、常に入居者の立場に立ったサービスの提供に努め、入居者の能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援した。

入居者の権利擁護の推進にあたっては、年2回研修会を実施したほか、虐待防止・身体拘束廃止委員会を中心に年2回、虐待の芽チェックリストで自己評価後、全体で振り返りと気になる言動についての意見交換を行い、虐待防止に努めた。

地域や家庭との結びつきについては、7月からユニット内の対面面会に切り替えた。9月と12月に新型コロナウイルス感染症が発生したため、一時的に交流や面会を中断した時期もあったが、感染状況を見ながら再開した。ボランティアについても間接的な作業の受入れを始め、アロマハンドマッサージや行事運営補助、介護業務の体験等、延べ18人の受入を行ったほか、地域貢献活動や家族連絡会等の交流する機会を持った。また、入居者の受入についても、居宅介護支援事業者や保健医療機関等と密接な連携を図りながら総合的なサービスの提供に努めた。

2 重点事項の実施状況

(1) 入居者主体の支援

施設サービス計画については、3か月ごとにサービス担当者会議を開催し、見直しを行った。可能な限り本人や家族に参加してもらい、個別の期待や要望、望む生活が実現できるように努めた。

個別性の強化については、各ユニットでケース担当職員が中心となり、24hシートの見直しを実施したが、充分活用することは出来なかった。

(2) 医療的ケアの充実

看取りケアを含む医療的ケアの研修会を実施し、医療的ケアの充実を図ったが、喀痰吸引等の研修については、人員不足から参加を取り止めた。有資格者は、手技が衰えないよう月1回特定行為の実施に努めた。

(3) 人材確保と定着

事務局キャリア支援課と連携し、人材の確保に努めたほか、介護福祉士養成校へのPR活動を行った。令和5年度の新採用者は10名（正職員6名、準職員4名）。離職防止のための面談と個々に合わせたOJTを実施した結果、離職者は1名のみであった。

(4) 安定的な経営基盤の確保

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護では、目標数値を0.2人上回り平均入居者数28.8人。短期入所生活介護では、目標数値を0.93人下回る平均入居者数7.8人であった。職員のマンパワー不足から空床期間の短縮化を図ることができなかった時期もあった。

新たな加算取得については、検討したが、体制等の準備が整わず算定できなかった。

(5) 職場環境の改善

介護機器については、1種類（床走行式リフト）試用したほか、昨年度試用した機器を1台導入した。移乗ボード等の各種福祉用具について、各ユニットの現状に合わせ、必要とされる用具を揃えることができた。また、ノーリフティングケア外部研修に参加した職員が伝達研修を行い、現場で活かせる技術の習得に努めた。

働きやすい職場づくりの体制強化については、可能な限り希望休を組み込んだシフト表の作成や夜勤明け後の休日調整を行った。

3 職員の状況

職名	施設長	医師	生活支援課長 (生活相談員)	看護職員	介護職員	介護支援 専門員
人数	1	1 (非常勤)	1	3	¹⁸ 【20】※2	1
職名	栄養士	機能訓練 指導員	事務員	専任当直員		計
人数	1	1	1	3		31

【備考】職員全般は、併設短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護の職員兼務。
※管理者・介護支援専門員は介護職員兼務のため【20】に含む。

4 職員研修

外部研修や法人内研修へ職員を派遣したほか、苑内で次の研修会を実施した。

名称	実施時期等	参加者数	備考
新任職員研修会	4/26 7/5 9/5～13 11/1	計 9 人	高齢者施設の基本的知識として、施設理念・事業計画、ユニットケア・介護保険制度、高齢者虐待防止・身体拘束廃止・リスクマネジメント、移乗技術、高齢者の疾病と緊急対応、防災対応など
救命救急研修	4/26、11/29	計 39 人	急変・緊急時の対応方法、観察項目、報告手順など
感染症対策研修	5/31、10/31	計 38 人	食中毒や感染症予防策、嘔吐時処理手順、ガウンテクニックなど
高齢者虐待防止・身体拘束廃止に関する研修	6/28 9/27、28、29	計 49 人	虐待の5種類・虐待と認知症の関係 事前アンケートの実施と虐待の芽チェックリストの実施による自由記述内容に基づく意見交換など
リスクマネジメント研修	7/19、12/27	計 42 人	事故防止の知識・ヒヤリハットの目的と意義 危険予知トレーニングなど
口腔ケアに関する研修	8/30、3/6	計 23 人	歯科衛生士より要介護高齢者に対する口腔ケアについて 口腔ケアの重要性とその方法など
薬に関する研修	1/31	計 15 人	薬の作用と役割 薬効に影響する食べ物など
看取りケア研修	2/28	計 13 人	看取りケアの基本・看取りとは 看取り時に必要な知識や身体的変化など

5 行事

(1) 年間行事・クラブ活動

名称	実施時期等	参加者数	備考
夏祭り・居酒屋	7/22	35 人	夏に因んだアトラクションや飲食を提供し、気切を感じてもらった

ねぶた観覧	7/28	39人	すこやか苑・安生園合同ねぶた運行を観覧した
敬老会	9/20	31人	明の星短期大学附属幼稚園の園児によるお遊戯や劇等で敬老の日をお祝いした
あんみつ作り	10/27	21人	豆植えから収穫までした、すこやか苑産大納言であんみつを作り行った
ミニ運動会	11/8	31人	ユニット対抗で玉入れや物品渡しリレー、的当てなどの競技を行った
新年会	1/10	34人	新年に因んだアトラクションと職員による踊りや歌を提供し、季節を感じてもらった
手踊り演舞観覧	2/17	33人	石川吉梅会の子供達による手踊り演舞を観覧した。
家族連絡会	3/16	15人 (家族)	令和5年度ニーズアンケート結果報告と令和6年度事業計画について説明、懇談した。

(2) クラブ活動

名称	実施時期等	参加者数	備考
書道クラブ	月1回	延130人	4/26、5/24、6/21、7/26、8/23、9/27 10/25、11/29、12/27、1/24、2/15、3/27
星取りクラブ	年6回	延36人	5月場所、7月場所、9月場所、11月場所、1月場所、3月場所
音楽体操クラブ	年5回	延134人	4/16、6/14、8/9、10/11、2/14

(3) 会議・各種委員会等

名称	実施時期等	参加者数	備考
全体会議	年12回	各回 約15人	施設長からの指示事項ほか、協議伝達等
ユニットリーダー会議	年12回	各回5人	ユニットリーダーを中心にユニット運営について協議
給食会議	年12回	各回7人	嗜好に合わせた献立、味付け、調理方法（食形態）の検討
サービス担当者会議	地域131回 短期20回	各回 約7人	施設サービス計画や短期入所生活介護計画書作成など介護方針の協議決定
運営推進会議	年6回	各回 約6人	施設運営の現状報告、課題等への助言等
苦情解決協議会	年4回	6人	各種苦情解決へ向けての協議 (苦情：0件)
苦情解決第三者委員 相談日	年12回	延44人	第三者委員が輪番制で訪問し、苦情、要望の聞き取りを対面で実施
入所判定会議	年6回	各回 約6人	入居者の決定に当たり、決定過程の公平性・透明性を確保
リスクマネジメント・ 感染症対策委員会	年12回	各回 約9人	月ごとの事故分析・対策検討 食中毒・インフルエンザ・新型コロナ ウイルスなど感染症対策について 協議
虐待防止・身体拘束廃 止委員会	年14回	各回 約7人	虐待が疑われる案件や身体拘束が疑 われる案件等について協議
褥瘡・排泄ケア委員会	年4回	各回 約6人	褥瘡予防改善に向けた検討 排泄ケアについての問題点を検討

ノーリフティングケア推進委員会	年4回	各回約9人	介護機器やノーリフティングケアの導入に向け検討及び腰痛調査、職場環境調査の実施
看取り介護実施委員会	年4回	各回約10人	看取り介護の振り返りと指針やマニュアルの見直し
研修委員会	年4回	各回約6人	内部研修・研究発表に関する企画・実施
防災委員会	年3回	各回約9人	防災マニュアルの整備や防災訓練の企画運営など

6 健康管理

内 容	実施時期等	対象者	備 考																																
バイタルチェック	入浴日 ほか随時	全入居者	体温・血圧・SPO2・一般状態や皮膚状態の観察等																																
体重測定	毎月	全入居者	低体重者は1回/2週間測定																																
配置医診察	毎週木曜日	全入居者	入居者の診察・薬の処方・検査や通院等の指示等																																
通院・往診	随 時	通院が必要な入居者	<table border="1"> <tr> <td colspan="4">(通院)</td> </tr> <tr> <td>泌尿器科</td> <td>2人</td> <td>消化器内科</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>0人</td> <td>精神科</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>皮膚科</td> <td>19人</td> <td>神経内科</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>3人</td> <td>認知症外来</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科</td> <td>0人</td> <td>循環器内科</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>歯科</td> <td>0人</td> <td>救命救急</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>脳神経外科</td> <td>1人</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※歯科往診27人 ※延人数、短期入所利用者除く</p>	(通院)				泌尿器科	2人	消化器内科	5人	整形外科	0人	精神科	0人	皮膚科	19人	神経内科	0人	外科	3人	認知症外来	0人	耳鼻科	0人	循環器内科	4人	歯科	0人	救命救急	2人	脳神経外科	1人		
(通院)																																			
泌尿器科	2人	消化器内科	5人																																
整形外科	0人	精神科	0人																																
皮膚科	19人	神経内科	0人																																
外科	3人	認知症外来	0人																																
耳鼻科	0人	循環器内科	4人																																
歯科	0人	救命救急	2人																																
脳神経外科	1人																																		
予防接種	11月(7回目) 11月	入居者	新型コロナウイルスワクチン インフルエンザワクチン																																
口腔ケアに係る技術的助言及び指導	月1回	看護職員 介護職員	歯科医・歯科衛生士による助言指導																																
機能訓練	週2回程度	全入居者	機能訓練計画書による個別機能訓練 短期入所利用者は集団体操																																
訪問理美容	第三水曜日 ほか	175人 ※延人数	訪問美容：毎月第三水曜日 訪問理容：毎月第三木曜日																																

7 安全・防火管理

防災訓練（避難訓練）のほか、消防機器の法定点検・自主点検を実施した。

内 容	実施時期等	参加者数	備 考
防災訓練（地震・夜間火災想定・消化・通報・AED使用訓練）	5/31	49人	職員24人、入居者25人
防災訓練（水害想定・必要物品搬出・非常食の試食）	7/19	30人	職員19人、入居者11人
防災訓練（火災想定・通報・消火・避難・地域防災協力隊の見学）	10/21	65人	職員23人、入居者26人 地域防災協力隊16人

8 地域（住民・ボランティア）との連携と地域貢献

内 容	実施時期等	参加者数	備 考
苑外周の除草	4/28	2人	ボランティア
虹ヶ丘町会 春の清掃	5/8	4人 (職員)	地域貢献
苑外周の除草	5/10	2人	ボランティア
浜館地区社会福祉協議会 こころの縁側事業 レクリエーション講師	5/17	1人	地域貢献
車椅子清掃	5/22	1人	ボランティア
虹ヶ丘町会 ひまわり通り花壇の花植え	5/29	4人 (職員)	地域貢献
清拭布の裁断・外出付添い	6/2	1人	ボランティア
車椅子清掃	6/15	3人	ボランティア
居室替え	7/12	2人	ボランティア
虹ヶ丘町会夏祭り会場設営	7/29	5人 (職員)	地域貢献
アロマハンドマッサージ	8/29	1人	ボランティア
青森市東部包括支援センター 認知症カフェ レクリエーション講師	10/28	2人 (職員)	地域貢献
ミニ運動会補助	11/8	1人	ボランティア
車椅子清掃・清拭布の裁断	11/14	1人	ボランティア
職業体験	11/27～29	3人	ボランティア
アロマハンドマッサージ	2/15	1人	ボランティア

9 実習の受入れ

内 容	実施時期等	参加者数	備 考
2023年度青森明の星短期大学 介護実習	9/1～9/20	2人	青森明の星短期大学1年生ⅡA介護実習
令和5年度青森県立保健大学 社会福祉基礎実習Ⅰ	7/5	4人	青森県立保健大学1年生社会福祉基礎実習
令和5年度青森県立保健大学 ソーシャルワーク実習Ⅱ	8/1～9/1	1人	青森県立保健大学3年生ソーシャルワーク実習Ⅱ
就労移行支援事業 職場実習	8/28～30	1人	就労サポートセンターさつき 就労継続支援B型利用者職場実習
令和5年度青森県立保健大学 ソーシャルワーク実習Ⅰ	10/30～11/15	1人	青森県立保健大学2年生ソーシャルワーク実習Ⅰ
就労移行支援事業 職場実習	2/19～3/4	1人	就労サポートセンターさつき 就労継続支援B型利用者職場実習

10 事業概要

I 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（ユニット型）

(1) 概況

ユニットケアの理念に基づいた個別支援に重点を置き、入居前と入居後の生活が連続したものになるよう、入居者一人ひとりの個性や生活リズムを尊重しながら各ユニットにおいて相互に社会的関係を築き自律的な日常生活を営むことができるよう支援した。

令和5年度の入退居状況については、入居が6人、退居が4人という状況であった。平均介護度は4.2、平均年齢は89.6歳だった（令和5年度末時点）。

稼働率は、平均98.3%で前年度比5.3%と上回った。目標数値についても0.2人上回る平均入居者数28.8人の結果となった。

第2、第3四半期には新型コロナウイルスの発生に伴い、一時的に受入制限を設けたほか、介護スタッフの欠員補充が整わない状況の中、多職種が連携し、入居者主体の支援に努めた。

【稼働率と実数】

※月末時点

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働率(%)	96.4	100	100	99.0	98.8	96.8	97.6	94.0	96.9	100	100	100	98.2 (平均)
実数(人)	839	899	870	890	888	842	877	818	871	899	841	899	10433

(2) 定員

29人（10人×2ユニット、9人×1ユニット）

II 短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

(1) 概況

居宅の要介護者等に、入居者の自律生活を保障する個室と、少人数の家庭的な雰囲気の中で生活できるユニットケアを提供するとともに、その家族の身体的、精神的負担を軽減できるようサービスを提供した。

令和5年度の新規契約者数は16人、平均介護度は3.4、平均年齢は85.6歳だった（令和5年度末時点）。

稼働率は、平均79.0%で前年度比を7.5%上回ったが、目標数値を0.93人下回る結果となった。新型コロナウイルスほか、感染症対策に留意する中で、居宅介護支援事業者及び保健医療関係機関等と連携しながら、新規入居者の獲得と継続性のある利用に努めた。

【稼働率と実数】

※月末時点

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働率(%)	81.0	82.9	85.7	86.1	91.9	87.3	71.0	65.0	68.7	73.2	69.3	86.1	79.0 (平均)
実数(人)	243	257	257	267	286	262	220	195	213	227	201	267	2894

(2) 定員

10人（10人×1ユニット）

※上記ほか、併設・空床利用型であるため、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護における空きベッド利用可。

III 入退居状況

地域密着型入所者生活介護		(介護予防) 短期入所生活介護	
定員	29人	定員	10人

令和5年度内延新規入居者数	6人	令和5年度内延入居者数	140人
令和5年度内退居者数	4人	令和5年度内延入居件数	2894人
令和5年度末現在の入居者数	29人		